

## 主な事業

### 市議会会議録検索システム導入事業

(102万円)

ホームページを活用して、市議会の会議録が検索、閲覧できる。

### 通学路防犯灯

#### 設置事業

(1,600万円)

前年度に引き続き、子どもの安全・安心を図るため、前年度の倍額とした。

### 消防施設・

#### 設備整備事業

(3,483万円)

老朽化した消防積載車並びに小型ポンプの更新、女性消防隊用小型ポンプ導入や防火水槽設置費など。

### 循環バス運行事業

(525万円)

小城市内公共施設である四庁舎、福祉センター、市民病院を結ぶ市内循環バスの試行運行。一日四便。運賃無料による民間事業者へ委託。

### スローライフ

#### 推進事業

(405万円)

「スローライフ」という視点から小城市のよさを見つめ直す。勉強会を実施し、プランを策定する。三世代ふれあい交流事業(13万円)などもあわせて実施する。

### 防災行政無線整備事業

(2,000万円)

災害時における緊急情報及び避難情報の、市民等への伝達手段の一つとして、防災活動の実効的な効果を得るため、電波法で定められている公共業務用無線局「防災行政無線」の整備を行う。今年度は公共施設などへの個別受信機設置を行う。

### 不妊治療支援事業

(200万円)

健康保険が適用されない不妊治療での経済的負担の軽減、精神的支援を図るため、その治療に要する費用の一部を助成する。助成対象経費から佐賀県の助成額を控除して得た額と、十万円とを比較して少ない方を通算二年度を限度に助成する。

### 福祉事業など啓発事業

(173万円)

平成十八年度に「小城市地域福祉計画」を策定。実施にあたり、福祉のガイドブックを作成し、各世帯に配布する。

### 天山・多久地区広域清掃センター建設促進協議会負担金

(1,034万円)

現在のゴミ処理焼却施設の老朽化に伴い、多久市と共同して新たな焼却施設を作るための協議会負担金。

### 介護給付費・訓練など給付費支給事業

(3億3,000万円)

障害者自立支援法の施行により従来の施設訓練など、支援費と居宅生活支援費が整理統合され新しいサービス体系となっ

### 障害者就労支援事業

(319万円)

資源物回収所を設置し、そこで障害者が働けるようにすることにより、障害者の就労の場の確保を図る。

づくりをめざす。

### 放課後児童健全育成事業

(2,091万円)

放課後及び長期休暇に、市内八カ所の小学校の余裕教室や専用施設で仕事などで保護者のいない家庭の児童をあずかる。対象は小学校三年生まで。開設時間を午後五時三十分まで延長する。

### 道路整備交付金事業

(林道960万円  
市道8,240万円)

森林整備を図るため、林道天山線の改良。また、市道整備などで安心安全を確保する。

### 子育て相互支援事業

(571万円)

小城市の桜楽館(さくらがく)を中心に実施されてきた一時預かりなどの子育て支援事業を南部の拠点として芦刈町ひまわりに設けて市内全域的に拡大する。安心して子育てできる環境、子育てしやすい地域



▶整備が進む防犯灯  
(三日月町高田)



▶各集落にあるスピーカー



▲小城市消防署北分署南側倉庫に設置された資源物回収所



▲牛津川の堤防道路を舗装へ

## 農地・水・環境保全 向上対策事業

### 共同活動支援事業

(2, 574万円)

農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るため、地域の農業者と住民との参画を得て資源の保全向上活動への支援を行う。

### 営農活動支援事業

(1, 042万円)

地域共同活動に加えて化学肥料及び化学合成農薬の五割以上削減などの環境にやさしい農業に取り組む農家へ支援する。

## 里地棚田保全整備 事業（岩蔵地区）

(1, 067万円)

岩蔵地区。耐久性畦畔（コンクリート畦畔）の整備により維持管理費の軽減、農地の崩壊防止など水田の多面的機能の保全と、農業経営の安定を図るもの。

## 小城市都市計画マ ス タープラン策定事業

(1, 396万円)

市街地における都市的利用の適正化と土地の有効利用、高度利用を促進するため区域の見直しや都市計画マスタープランに基づき都市の形成を進める。

## まちづくり交付金事業

(4, 021万円)

国のまちづくり交付金二億七千八百八十万円を受けて芦刈庁舎周辺地域を総合的に整備する。総事業費六億九千九百二十一万円。平成二十三年度完成予定。芦刈地区の定住人口の増加、交流人口の増加、地元購買率の向上を目的としたもの。

## 学校施設の整備・ 建設事業

(16億5, 381万円)

三日月中の施設整備、小城中の建設、牛津中の

基本設計、実施設計作成業務を委託する。

## 国際交流活動支援事業

(10万円)

市内の小・中学生や教職員・保護者などを対象に、国際的視野の広い子どもを育成をめざす。



▶岩松小学校と韓国の小学校との国際交流

## 平成十九年度全国 高校総体開催事業

(1, 761万円)

平成十九年七月二十八日から八月二十日まで県内で開催され、小城市でもバトミントン、ハンドボール競技の二競技が開催される。

## 教育支援事業

(5, 327万円)

一人ひとりの教育的ニーズに応じて適切な教育支援を行う。具体的な事業内容として教育支援センターを設置し子どもの健全育成をめざす。子どもサポーターを配置し、教育相談、適応指導を行う。

## 小城市体育協会 補助事業

(1, 776万円)

小城市体育協会は平成十八年度に財団法人として新たなスタートを切った。市からの受託事業として、市内各地でのスポーツ大会、教室を開催。協会事業として市民体育大会、県民体育大会、観桜大会などを開催しスポーツの振興を図った。今年度は加えて競技団体の育成強化、広報紙の発行、財政確立を図る事業を行う。

## 図書館インター ネット図書資料予 約サービス事業

(142万円)



▲小城市民図書館牛津分室

小城市民図書館の二館二分室所蔵の貸出資料について利用者が図書館

## 医療機器整備事業

(6, 283万円)

ホームページより予約を行うシステムを構築する。CT装置、マンモグラフィなど高度医療機器の整備を進め、医療事務の効率化を図り、病気の早期発見、早期治療につなげる。

## 二十二世紀に残す 佐賀県遺産支援事業

(427万円)

市内に所在する二十二世紀に残す佐賀県遺産修理補助。今年度は小柳酒造煙突を補修する。



▲国登録有形文化財・佐賀県遺産に指定されている小柳酒造煙突

## 教育委員会委員を任命

平成十九年五月十五日に任期満了を迎えるため、再度任命したもの。



江島 紀行氏

## 意見・陳情書

意見書二件、請願・陳情書等三件が提出され、三月議会の最終日、意見書について審議した。

### 意見書

「公共工事における建設労働者の適正な労働条件確保に関する意見書」について、賛成多数で採択。「柳澤伯夫厚生労働大臣の辞任を求める意見書」については、賛成五名で不採択となった。

## 小城市総合計画

今後十年間のまちづくりを計画する小城市総合計画は、第一部総論、第二部基本構想、第三部基本計画及び戦略プロジェクトから成り立っている。

これは、公募されたまちづくり市民会議（三十名）と大学教授四名で、一年かけて提言書を提出。

これを基に、庁舎内で検討し市民へのアンケート、そして市民代表と議会代表三十名での基本構想審議会で、五分科会に分かれて討議され、約一

年九カ月かけてまとめたもの。

三月議会では、総合計画の中心をなす基本構想を審議。十年後の人口四万八千人の根拠、まちづくりの土地利用計画や交通網の整備、基本目標の具体化などについて質疑を行った。

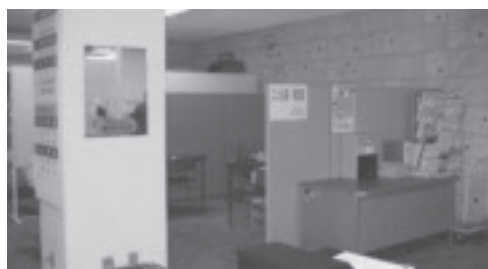
これは十年後の小城市のあるべき姿を示したものであり、この方向に沿って施策が立てられる。

三月議会では、「和」で織りなす美しいまちの基本目標をキーワードに、住環境、福祉、教育、農林水産や商工、雇用などの基本方針を承認した。



▲小城市総合計画表紙

## こども課を設置し、窓口を一元化



▲一部一階に設けられたこども課窓口

子どもに関する事業はこれまで教育委員会（小城市庁舎）と児童福祉課（三日月庁舎）に分かれて行われてきたが、十九年度より教育委員会にこども課を設置し、窓口を一元化する。これにより子どもに関することは全て小城市庁舎二階のこども課が担当することになるが、一部受け付け窓口を一階にも設置する。

## 粗大ごみを五百円で収集



▲なくそう不法投棄

天山区塵芥処理場では、たんす、机、ベッドなどの粗大ごみは小さくしないと受け付けてもらえないので、本年度より有料で回収する。生活環境課または各庁舎の総合窓口で受け付ける。事前に申し込みをし、個数分の粗大ごみステッカー（一枚五百円）をもらい、ステッカーを貼り付けて回収してもらう。収集日は電話で確認、玄関前や車庫前などで収集する。高齢者などは立ちあいのもと家内回収もできる。

## 三日月浄化センター供用開始



▲三日月浄化センター落成式

長年の懸案であった三日月浄化センターが、十九年三月三十日動き出した。大寺、初田、樋口、江利、五条、四条、久本の一部区域、立石、江口、金田の全区域がカバーされる。これにより稼働している下水終末処理場は、市内で清水・砥川・牛津・織島・三日月の五カ所となった。芦刈の下水終末処理場は、今年度本体工事着工の予定である。